

タイの共同コンサルへ

地域銀4行が出資

日本企業進出を支援

山形銀行、大垣共立銀行、大分銀行、北洋銀行の地域銀行4行は、日本企業のタイ進出を支援するため、タイのバンコック銀行や日系コンサル会社が11月に設立した「バンコク・コンサルティンク・パートナーズ」に出資する。

バンコック銀行やタ

イの法律事務所・新聞社グループが51%を出資し、残り49%を日本のコンサルティンク会社であるリッキュービジネスソリューションと船井総合研究所、地域銀4行が出資する。地域銀の出資比率は各1%とわずかだが、共同で海外法人の設立に参加するケースは珍しい。

い。

日本企業のタイ進出ニーズが高まるなか、進出前の相談から進出後の支援までをワンストップで提供する。具体的な業務内容は法人設立や税務関連申告の助言や労働許可証の取得申請、人材紹介など。窓口は日本とタイの双

方に置く。

出資参加した地域銀は、同社を通じて取引先のタイ進出を後押しし、行員をトレーニーとして同社に派遣できるメリットがある。リッキュー社は「今後、全国の地域銀に出資参加を呼び掛けていきたい」としている。